

2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 テモナ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3985 URL https://temona.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐川 隼人
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 波多野 完治 (TEL) 03-6635-6452
定時株主総会開催予定日 2024年12月24日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2024年12月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績(2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	1,825	△22.0	△56	—	△58	—	△393	—
2023年9月期	2,341	3.9	△83	—	△76	—	△127	—

(注) 包括利益 2024年9月期 △393百万円(—%) 2023年9月期 △127百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△36.84	—	△59.3	△3.8	△3.1
2023年9月期	△12.00	—	△11.4	△3.4	△3.6

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	1,541	700	43.1	62.16
2023年9月期	2,254	1,091	46.8	98.71

(参考) 自己資本 2024年9月期 664百万円 2023年9月期 1,054百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	29	△117	△201	910
2023年9月期	229	△146	122	1,200

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	917	△4.3	3	—	1	—	△6	—	△0.58
通期	1,918	5.1	66	—	63	—	32	—	3.02

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)― 、除外 一社(社名)―

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期	11,425,592株	2023年9月期	11,425,592株
② 期末自己株式数	2024年9月期	742,917株	2023年9月期	745,317株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	10,681,697株	2023年9月期	10,661,645株

(注) 当社は、「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(2023年9月期744,500株、2024年9月期742,100株)を自己株式に含めて記載しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P5、「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料(ファクトシート)は、2024年11月12日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって経済環境は緩やかな回復基調が続いているものの、不安定な国際情勢に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰、円安の長期化などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する国内電子商取引市場は、「令和5年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）」によりますと、2023年のBtoC-EC市場規模が前年比9.23%増の24.8兆円、BtoB-EC市場規模が前年比10.7%増の465.2兆円となりました。また、ECの普及率を示す指標であるEC化率（※1）も、BtoC-ECで9.38%、BtoB-ECで40.0%と増加傾向が続いており、商取引の電子化は引き続き進展していくものと見込まれます。

このような経済環境のもと、当社グループでは、経済環境が不透明な中でも安定した収益を確保しやすいサブスクリプションビジネスを総合的に支援し、顧客の事業成長に貢献し続けることが成長の鍵だと考え、顧客の事業成長を支援する既存サービスの機能強化と販売を推し進めるとともに、コスト構造の見直しや生産性の改善にも取り組んでまいりました。

当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

当連結会計年度は、サービス利用アカウント総数や流通総額の減少、システムの受託開発収益の伸び悩みやシステムエンジニアリングサービスの提供先減少等により、売上高は1,825,900千円（前年同期比22.0%減）となりました。

売上原価は、受託開発収益の減少やシステムエンジニアリングサービスの提供先減少に伴う外注費の減少等により、888,696千円（前期比19.8%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、業務効率化や人員の適正再配置等により人件費・採用費が減少したこと等から、993,526千円（前年同期比24.5%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、営業損失56,322千円（前年同期は営業損失83,730千円）、経常損失58,094千円（前年同期は経常損失76,529千円）、EC支援事業にかかるソフトウェアの減損損失の計上及び税効果会計の影響により親会社株主に帰属する当期純損失は、393,545千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失127,956千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(a) EC支援事業

EC支援事業では、サブスクリプションビジネスに特化したECサイトを構成するシステムの提供や、サブスクリプションビジネスの運営を支援する集客、顧客対応、ロジスティクスなどに関連したサービスを提供しております。

EC支援事業におけるサービス別の業績を収益区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

サービスの名称	収益区分	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)		増減額	増減率 (%)	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)			
a	サブスクストア	リカーリング収益	373,959	19.9	323,422	22.1	△50,536	△13.5
		受託開発収益	223,422	11.9	31,377	2.1	△192,044	△86.0
		その他収益	105,628	5.6	95,225	6.5	△10,403	△9.8
	たまごレポート	リカーリング収益	393,655	21.0	325,849	22.2	△67,806	△17.2
		受託開発収益	—	—	—	—	—	—
		その他収益	47,547	2.5	34,230	2.3	△13,316	△28.0
小計		1,144,213	60.9	810,105	55.3	△334,107	△29.2	
b	決済手数料	GMV連動収益	479,135	25.5	426,456	29.1	△52,679	△11.0
c	その他	リカーリング収益	79,926	4.3	95,451	6.5	15,525	19.4
		受託開発収益	125,496	6.7	104,955	7.2	△20,541	△16.4
		その他収益	50,195	2.7	29,272	2.0	△20,923	△41.7
	小計		255,618	13.6	229,679	15.7	△25,939	△10.1
合計 (a+b+c)		1,878,967	100.0	1,466,240	100.0	△412,726	△22.0	

- a. 「サブスクストア」のサービス利用アカウント数は400件（前期比16.1%減）、「たまごレポート」のサービス利用アカウント数は408件（前期比15.4%減）となり、これらのサービス利用アカウント総数は808件（前期比15.7%減）となりました。アカウント数の減少からリカーリング収益（※2）は減少しており、「サブスクストア」のカスタマイズ等の受託開発収益（※3）も伸び悩み、売上高は810,105千円（前期比29.2%減）となりました。
- b. 当社グループの提供するサービスに係る流通総額は、サービス利用アカウント総数の減少などから、1,241億円（前期比4.4%減）となり、GMV連動収益（※4）も、426,456千円（前期比11.0%減）となりました。
- c. リアル店舗向けのサービスである「サブスクアット」のアカウント数（契約法人数）が175件（前期比2.8%減）、BtoB事業者向けのサービスである「サブスクストアB2B」のアカウント数が21件（前期比4.5%減）となりアカウント数は微減となりましたが、期中の平均アカウント数は前期比で増加したことから、リカーリング収益が95,451千円（前期比19.4%増）に伸ばしました。一方で、「サブスクアット」に付随するWebページ制作サービスが減少したことから、受託開発収益が104,955千円（前期比16.4%減）となりました。その結果、その他サービスの売上高は、229,679千円（前期比10.1%減）となりました。

以上の結果、EC支援事業の売上高は1,466,240千円（前期比22.0%減）、セグメント損失は38,773千円（前年同期はセグメント損失113,407千円）となりました。

(b) エンジニアリング事業

エンジニアリング事業では、株式会社サクルにおいて、システム開発の受託サービスや、顧客にソフトウェアエンジニアのスキルを提供するシステムエンジニアリングサービスを提供しております。

エンジニアリング事業においては、システム開発の受託サービスの伸び悩み、システムエンジニアリングサービスの提供先減少等により売上高は359,659千円（前期比22.2%減）、セグメント損失6,050千円（前年同期はセグメント利益32,493千円）となりました。

- ※1 EC化率 : 全ての商取引市場規模に対するEC市場規模の割合。
- ※2 リカーリング収益 : 利用した月に応じて定額で課金するサービスの収益。
- ※3 受託開発収益 : 当社のシステムのカスタマイズなど、受託開発による収益。
- ※4 GMV連動収益 : 顧客の流通総額に連動して発生する収益。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における資産の残高は、前連結会計年度末に比べて712,981千円減少し、1,541,557千円となりました。この主な要因は、借入金の返済などによる現金及び預金の減少290,126千円、EC支援事業にかかるソフトウェアの減損損失の計上等により249,647千円減少したこと、また回収可能性の見直しによる繰延税金資産が80,984千円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて322,166千円減少し、840,990千円となりました。この主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が205,512千円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて390,815千円減少し、700,567千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が393,545千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、910,419千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、29,576千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失307,215千円に対して、減価償却費145,758千円や減損損失241,089千円等の資金の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、117,791千円の支出となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出117,176千円等の資金の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、201,912千円の支出となりました。これは、長期借入金の返済による支出205,512千円等による資金の減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループでは、経済環境が不透明な中でも安定した収益を確保しやすいサブスクリプションビジネスを総合的に支援し、顧客の事業成長に貢献し続けることが成長の鍵だと考えております。そのため、顧客の事業成長を支援する既存サービスの機能強化と販売を引き続き推し進めるとともに、既存領域だけでなく新たな事業領域でも顧客の事業成長に貢献するサービスを創出し、事業成長を図ってまいります。また、引き続きコスト構造の見直しや生産性の改善にも取り組み、利益改善も図ってまいります。

これらを推進することで、2025年9月期の通期連結業績予想につきましては、以下のとおり、売上高1,918百万円（前期比5.1%増）、営業利益66百万円、経常利益63百万円、親会社株主に帰属する当期純利益32百万円を予想しております。

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	翌連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,825	1,918	92	5.1%
営業利益又は 営業損失 (△)	△56	66	122	—
経常利益又は 経常損失 (△)	△58	63	121	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)	△393	32	425	—

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の運用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上で、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,200,545	910,419
売掛金	169,002	156,748
契約資産	47,389	42,540
その他	79,456	69,492
貸倒引当金	△2,365	△1,986
流動資産合計	1,494,029	1,177,213
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	29,530	17,492
その他（純額）	17,260	9,890
有形固定資産合計	46,791	27,383
無形固定資産		
ソフトウェア	255,473	5,825
のれん	231,726	201,078
無形固定資産合計	487,199	206,904
投資その他の資産		
投資有価証券	17,250	2,250
繰延税金資産	131,753	50,768
その他	81,184	77,267
貸倒引当金	△3,667	△229
投資その他の資産合計	226,519	130,056
固定資産合計	760,510	364,344
資産合計	2,254,539	1,541,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,542	47,183
短期借入金	200,000	200,000
未払金	106,640	54,877
1年内返済予定の長期借入金	205,512	129,904
未払法人税等	24,112	5,946
契約負債	68,632	76,030
その他	49,043	25,834
流動負債合計	726,484	539,775
固定負債		
長期借入金	424,923	295,019
株式給付引当金	11,750	6,195
固定負債合計	436,673	301,214
負債合計	1,163,157	840,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,421	386,421
資本剰余金	376,421	377,973
利益剰余金	875,201	481,656
自己株式	△583,744	△582,035
株主資本合計	1,054,300	664,016
新株予約権	37,082	34,438
非支配株主持分	—	2,112
純資産合計	1,091,382	700,567
負債純資産合計	2,254,539	1,541,557

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,341,027	1,825,900
売上原価	1,108,696	888,696
売上総利益	1,232,331	937,204
販売費及び一般管理費	1,316,061	993,526
営業損失(△)	△83,730	△56,322
営業外収益		
受取利息	9	94
受取配当金	226	338
受取手数料	112	5
業務受託料	680	604
助成金収入	10,787	1,051
物品売却益	259	366
その他	1,097	144
営業外収益合計	13,173	2,603
営業外費用		
支払利息	2,710	4,375
売上債権売却損	3,262	—
営業外費用合計	5,972	4,375
経常損失(△)	△76,529	△58,094
特別利益		
新株予約権戻入益	—	6,968
特別利益合計	—	6,968
特別損失		
投資有価証券評価損	49,999	14,999
減損損失	—	241,089
特別損失合計	49,999	256,089
税金等調整前当期純損失(△)	△126,529	△307,215
法人税、住民税及び事業税	21,891	5,280
法人税等調整額	△20,465	80,984
法人税等合計	1,426	86,264
当期純損失(△)	△127,956	△393,480
非支配株主に帰属する当期純利益	—	65
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△127,956	△393,545

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純損失 (△)	△127,956	△393,480
包括利益	△127,956	△393,480
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△127,956	△393,545
非支配株主に係る包括利益	—	65

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	385,671	375,671	1,003,158	△583,744	1,180,756
当期変動額					
新株の発行	750	750			1,500
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△127,956		△127,956
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	750	750	△127,956	—	△126,456
当期末残高	386,421	376,421	875,201	△583,744	1,054,300

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	20,277	—	1,201,034
当期変動額			
新株の発行			1,500
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△127,956
自己株式の処分			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	16,804	—	16,804
当期変動額合計	16,804	—	△109,651
当期末残高	37,082	—	1,091,382

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	386,421	376,421	875,201	△583,744	1,054,300
当期変動額					
新株の発行					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1,552			1,552
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△393,545		△393,545
自己株式の処分				1,708	1,708
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1,552	△393,545	1,708	△390,284
当期末残高	386,421	377,973	481,656	△582,035	664,016

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	37,082	—	1,091,382
当期変動額			
新株の発行			—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			1,552
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△393,545
自己株式の処分			1,708
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,643	2,112	△530
当期変動額合計	△2,643	2,112	△390,815
当期末残高	34,438	2,112	700,567

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△126,529	△307,215
減価償却費	147,309	145,758
のれん償却額	29,148	30,648
投資有価証券評価損益 (△は益)	49,999	14,999
新株予約権戻入益	—	△6,968
減損損失	—	241,089
受取利息及び受取配当金	△235	△432
支払利息	2,710	4,375
売上債権の増減額 (△は増加)	115,390	12,254
契約資産の増減額 (△は増加)	△47,389	4,848
仕入債務の増減額 (△は減少)	△63,556	△25,358
未払金の増減額 (△は減少)	△8,454	△51,763
契約負債の増減額 (△は減少)	△17,201	7,397
その他	103,730	△7,221
小計	184,920	62,410
利息及び配当金の受取額	235	432
利息の支払額	△2,796	△4,739
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	47,357	△28,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,716	29,576
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,441	△614
無形固定資産の取得による支出	△146,113	△117,176
投資有価証券の取得による支出	△15,000	—
投資有価証券の売却による収入	0	—
条件付取得対価の決済による収入	15,000	—
敷金及び保証金の回収による収入	2,385	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,170	△117,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△179,464	△205,512
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,500	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	3,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	122,036	△201,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	205,582	△290,126
現金及び現金同等物の期首残高	994,963	1,200,545
現金及び現金同等物の期末残高	1,200,545	910,419

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、主たる事業内容別に「EC支援事業」「エンジニアリング事業」に分類し、当該事業を報告セグメントとしております。EC支援事業では、サブスクリプションビジネスに特化したECサイトを構成するシステムの提供や、サブスクリプションビジネスの運営を支援する集客、顧客対応、ロジスティクスなどに関連したサービスを提供しております。エンジニアリング事業では、株式会社サクルにおいて、システム開発を請け負うサービスや、顧客にソフトウェアエンジニアのスキルを提供するシステムエンジニアリングサービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	連結財務諸表計上額 (注) 3
	EC支援事業	エンジニアリング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,878,967	462,060	2,341,027	—	2,341,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	131,375	131,375	△131,375	—
計	1,878,967	593,436	2,472,403	△131,375	2,341,027
セグメント利益又は損失(△)	△113,407	32,493	△80,913	△2,816	△83,730
セグメント資産	1,721,662	542,779	2,264,442	△9,903	2,254,539
その他の項目					
減価償却費	144,399	2,909	147,309	—	147,309
のれんの償却額	4,260	24,888	29,148	—	29,148
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	152,018	674	152,692	△4,309	148,382

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,816千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント資産の調整額9,903千円は、セグメント間債権債務消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	連結財務諸表計上額 (注) 3
	EC支援事業	エンジニアリング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,466,240	359,659	1,825,900	—	1,825,900
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	82,706	82,706	△82,706	—
計	1,466,240	442,365	1,908,606	△82,706	1,825,900
セグメント損失(△)	△38,773	△6,050	△44,824	△11,498	△56,322
セグメント資産	1,086,179	464,194	1,550,373	△8,815	1,541,557
その他の項目					
減価償却費	144,798	3,091	147,889	—	147,889
のれんの償却額	5,760	24,888	30,648	—	30,648
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	132,390	614	133,005	—	133,005

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額11,498千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント資産の調整額8,815千円は、セグメント間債権債務消去等であります。

3. セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	EC支援事業				エンジニアリング事業	
	サブスストア	たまごレポート	決済手数料(※)	その他		
収益区分						
リカーリング収益	373,959	393,655	—	79,926	—	847,541
受託開発収益	223,422	—	—	125,496	462,060	810,978
GMV連動収益	—	—	479,135	—	—	479,135
その他収益	105,628	47,547	—	50,195	—	203,371
顧客との契約から生じる収益	703,010	441,203	479,135	255,618	462,060	2,341,027
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	703,010	441,203	479,135	255,618	462,060	2,341,027
収益認識の時期						
一時点で移転されるサービス	329,050	47,547	479,135	139,358	393,548	1,388,640
一定の期間にわたり移転されるサービス	373,959	393,655	—	116,260	68,511	952,387
外部顧客への売上高	703,010	441,203	479,135	255,618	462,060	2,341,027

(※) 決済手数料は、「サブスストア」「たまごレポート」「その他」の各サービスから発生したものでありますが、サービス別に区分することが困難なため、独立掲記しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	EC支援事業				エンジニアリング事業	
	サブストア	たまごリピート	決済手数料(※)	その他		
収益区分						
リカーリング収益	323,422	325,849	—	95,451	—	744,723
受託開発収益	31,377	—	—	104,955	359,659	495,992
GMV連動収益	—	—	426,456	—	—	426,456
その他収益	95,225	34,230	—	29,272	—	158,728
顧客との契約から生じる収益	450,025	360,080	426,456	229,679	359,659	1,825,900
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	450,025	360,080	426,456	229,679	359,659	1,825,900
収益認識の時期						
一時点で移転されるサービス	126,602	34,230	426,456	121,896	289,273	998,459
一定の期間にわたり移転されるサービス	323,422	325,849	—	107,782	70,386	827,441
外部顧客への売上高	450,025	360,080	426,456	229,679	359,659	1,825,900

(※) 決済手数料は、「サブストア」「たまごリピート」「その他」の各サービスから発生したものでありますが、サービス別に区分することが困難なため、独立掲記しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	EC支援事業	エンジニアリング事業	合計
減損損失	241,089	—	241,089

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	EC支援事業	エンジニアリング事業	合計
当期末残高	20,160	211,566	231,726

(注) 1. AIS株式会社において、事後的に株式の取得対価を修正する事象が発生したことに伴い、対価の一部が返還されたため、返還された対価の金額を取得原価から減額するとともに、のれんを減額しております。また、減額したのれんは企業結合日時点で減額されたものと仮定して計算し、当連結会計年度以前に対応するのれん償却額は当連結会計年度の損益として処理しております。

2. のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	EC支援事業	エンジニアリング事業	合計
当期末残高	14,400	186,678	201,078

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	98.71 円	62.16 円
1株当たり当期純損失(△)	△12.00 円	△36.84 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	— 円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。
2. 株主資本において自己株式として計上されている「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」に残存する当社の株式は、1株当たり当期純損失の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。
- なお、1株当たり当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は743,078株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は742,100株であります。
3. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△127,956	△393,545
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△127,956	△393,545
普通株式の期中平均株式数(株)	10,661,645	10,681,697
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権)(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権の数 42個 (普通株式 33,600株) 第5回新株予約権の数 2,750個 (普通株式 275,000株)	第4回新株予約権の数 10個 (普通株式 8,000株) 第5回新株予約権の数 1,920個 (普通株式 192,000株)

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年9月30日)	当連結会計年度末 (2024年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,091,382	700,567
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	37,082	36,551
(うち新株予約権(千円))	(37,082)	(34,438)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,054,300	664,016
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,680,275	10,682,675

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2024年11月6日開催の取締役会において、下記のとおり子会社の設立を決議しております。なお、当該子会社は、資本金が当社の資本金の額の100分の10以上に相当する予定のため、当社の特定子会社となる予定であります。

1. 子会社設立の目的

現在、定期通販もサブスクリプションサービス（以下、サブスク）に包括されるサービスと捉えられ、一般的なサービスとして認識されてきております。サブスクのサービス領域は拡大し続けており、デジタル系の動画配信サービスはもとより、食品やソフトウェア、家電、カーレンタルなど多岐にわたり、一般的なサービスの形態として世の中に普及しております。その一方で、サブスク事業者は資金不足・サブスク事業のノウハウ不足・人手不足等、様々な事業課題を抱えております。

これまでテモナグループでは「サブスクで世の中を豊かに」をパーパスにかかげ、様々なサブスク事業者にサブスクに特化したテクノロジーとノウハウによるサービス提供と事業支援を行ってまいりましたが、パーパス実現のためには事業支援をより強化・推進していく必要があるため、今回新たに子会社を設立することを決議しました。

当該子会社では、サブスク事業者への資金供給サービスの提供や、テモナグループ保有サービスのクロスセル（リード提供）を行う等、サブスク事業者とより強固な関係を構築し、サブスク事業者の事業成長に貢献し続けてまいります。

2. 設立する子会社の概要

(1) 名称	サブスクソリューションズ株式会社
(2) 所在地	東京都渋谷区渋谷2-12-19東建インターナショナルビル本館9F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 佐川隼人
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・システム、プラットフォーム企画販売 ・金融業務（ファクタリング、貸金、企業投資、ファンド組成、決済） ・機器の販売、賃貸、修理、管理業務 ・フルフィルメント業務（物流、コールセンター、web制作、広告）
(5) 資本金及び資本準備金	資本金5,000万円、資本準備金5,000万円
(6) 設立年月日	2024年12月上旬
(7) 決算期	9月
(8) 出資比率	当社100.0%